

こんなことが決まりました……………2

委員会の報告……………4

ここが聞きたい 11人が一般質問……………6

議会アンケートを実施……………11



2011.5.15 第39号



毎年多くの人が訪れるカタクリ群生地

平成23年度予算

494億9330万円を可決

平成23年第2回可児市議会定例会を2月28日から3月25日までの26日間の会期で開き、平成23年度の当初予算や平成22年度の補正予算など、34議案を審議しました。

会 計	平成23年度予算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
一 般 会 計	272億円	10億5000万円	4.0%
特 別 会 計	193億3030万円	8億6620万円	4.7%
水 道 事 業 会 計	29億6300万円	700万円	0.2%
総 計	494億9330万円	19億2320万円	4.0%

厳しい財政状況の中で、将来世代に過度な負担をかけないよう、市債残高を減少させ基金を残す健全財政の維持に努めた平成23年度の予算を、上の表のとおり可決しました。

一般会計予算

23年度の主な事業

- 予防ワクチン接種助成 1億3901万円
- 妊婦健診経費 8152万円
- 妊婦歯科健診経費 161万円
- 特定不妊治療費助成 300万円
- 防災行政無線整備事業 1700万円
- 可児駅前線街路事業 11億534万円
- 可児駅東土地区画整理関連事業

討論

6010万円
○運動公園整備事業 4億4715万円
反対討論がありましたが、賛成多数で可決しました。

反対 コミュニティFM出資金は、金額設定が不明瞭で、明確な根拠が示されていない。廃棄物減量推進事業の助成金減額は、資源回収事業にブレーキがかかることが懸念される。

賛成 兼山町商工会補助金は、本来もつ補助金制度の意図から逸脱している。バラを活かしたまちづくり事業の縮小は、市全体の動きに逆行している。土田小児童クラブ建替え延期は、施政方針にも反しており、市民に落胆を与えるものなので反対。コミュニティFM開局への出資

条例

ペット霊園の設置に基準

事業者がペット霊園を設置する際に、明確な基準を示した条例を可決しました。またこの条例では、説明会開催等を義務付けるなど、生活環境への配慮と近隣住民との良好な関係を築くことを定めています。

請願

今定例会では2件の請願が提出され、それぞれ採択との意見もありましたが、どちらも賛成少数で不採択となりました。
不採択 消費税の増税に反対し、食料品をはじめ暮らしにかかる消費税の減税に関する請願
不採択 「TTP参加反対の意見書」提出を求める請願

意見書

可決 東北地方太平洋沖地震の被災地に対する早期復興支援を求める意見書
被災された方はもちろん、国民の安心・安全を確保するため、適切な対策を講じるよう要望する意見書を可決し、国、関係機関へ提出しました。

第2回定例会

可決 環太平洋経済連携協定(TPP)交渉参加への慎重な対応を求める意見書
 TPPへの参加について、詳細な情報を提供し十分に議論を尽くすこと、食の安全・安定供給、食料自給率の向上、国内の農林水産業などを損なわないよう慎重に対応することなどを求めた意見書を可決しました。

反対 国に結果をゆだねるような内容には賛成できない。明確に反対・賛成を表明すべきである。

賛成 多くの市民がTPPに対する態度を表明できない現状がある以上、慎重審議を求める意見書を提出するのは有効。

反対 農林水産業のみならず各界に影響を及ぼすTPPには反対しかない。

提出された議案と審議結果

今回提出された議案は、予算関係22件、条例関係5件、人事関係3件、契約1件、その他3件で、すべて原案のとおり可決・同意しました。



	件名	結果		件名	結果
議案	2 平成23年度一般会計予算	○	議案	22 平成22年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	◎
	3 平成23年度国民健康保険事業特別会計予算	○		23 平成22年度可児駅東土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	◎
	4 平成23年度後期高齢者医療特別会計予算	○		24 部設置条例の一部改正	◎
	5 平成23年度介護保険特別会計予算	○		25 特別職報酬等審議会条例等の一部改正	◎
	6 平成23年度簡易水道事業特別会計予算	◎		26 体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	◎
	7 平成23年度飲料水供給事業特別会計予算	◎		27 国民健康保険条例の一部改正	◎
	8 平成23年度自家用工業用水道事業特別会計予算	◎		28 ペット霊園の設置の許可等に関する条例の制定	◎
	9 平成23年度公共下水道事業特別会計予算	○		29 固定資産評価員の選任	◎
	10 平成23年度特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	○		30 第四次総合計画基本構想の策定	◎
	11 平成23年度農業集落排水事業特別会計予算	○		31 請負契約の締結	○
	12 平成23年度可児駅東土地地区画整理事業特別会計予算	◎		32 財産の無償貸付け	○
	13 平成23年度土田財産区特別会計予算	◎		33 国土利用計画(可児市計画)の策定	◎
	14 平成23年度北姫財産区特別会計予算	◎		34 副市長の選任	◎
	15 平成23年度平牧財産区特別会計予算	◎		35 教育委員会委員の任命	◎
	16 平成23年度二野財産区特別会計予算	◎	請願	1 消費税の増税に反対し、食料品をはじめ暮らしにかかる消費税の減税に関する請願	△
	17 平成23年度大森財産区特別会計予算	◎		2 「TPP参加反対の意見書」提出を求める請願	△
	18 平成23年度水道事業会計予算	◎	発委	1 予算特別委員会の設置	◎
	19 平成22年度一般会計補正予算(第6号)	◎		2 東北地方太平洋沖地震の被災地に対する早期復興支援を求める意見書	◎
	20 平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	◎	発議	1 TPP交渉参加への慎重な対応を求める意見書	○
	21 平成22年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	◎			

【結果の表示記号】◎全会一致で可決・同意 ○賛成多数で可決・採択 △賛成少数で不採択

3月定例会の賛否一覧 ※これ以外の案件等は、全会一致で可決しています。

※○は賛成 ●は反対

※議長(可児慶志)は、採決に加わらない

	澤野	野呂	天羽	川上	酒井	山田	川合	小村	山根	小川	伊藤	可児	柘植	福田	肥田	亀谷	芦田	渡辺	林可児
	伸	久	明	文	正	喜	敏	昌	一	富	健	教	牧	正	志	光	功	重	則
【議案第2号】平成23年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
【議案第3号】平成23年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
【議案第4号】平成23年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
【議案第5号】平成23年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
【議案第9号】平成23年度公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
【議案第10号】平成23年度特定環境保全公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
【議案第11号】平成23年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
【議案第31号】請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
【議案第32号】財産の無償貸付け	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
【請願第1号】消費税の増税に反対し、食料品をはじめ暮らしにかかる消費税の減税に関する請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	-
【請願第2号】「TPP参加反対の意見書」提出を求める請願	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
【発議第1号】TPP交渉参加への慎重な対応を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

総務企画委員会

今定例会では22年度補正予算、条例の一部改正2件、その他1件について原案通り可決しました。

7300万円宝くじ協会から交付される

委員 市町村振興協会市町村交付金7300万円とは。

総務部長 宝くじ協会から岐阜県の市町村振興費として21億円が配分され、それを県下42市町村で均等割、人口割りで計算された本市の交付金額。

委員 23年度はいくらぐらい見込めるか。
総務部長 新年度は3000万円を計上している。

消費税増税反対の請願を不採択

消費税の増税に反

対し、食料品をはじめ暮らしにかかる消費税の減税に関する請願については、採択との意見もありましたが、賛成少数で不採択になりました。

採択

基本は、税の負担能力に応じて税を納めるべきであり、ただ一目散に消費税に頼っていくという現在の方法では問題解決しない。現時点では、国民の生活、暮らしを守って、経済の立て直しを図るとするのが第一任務であり、増税にはきっぱりとノーを言い続けることが必要だと思ふので採択。

不採択

国家財政が厳しい中で益々増加が見込まれる医療、年金など社会保障費の財源を求めていかなければならない。財源の確保が明確にならない中であるので、請願は不採択。

建設経済委員会

今定例会では7件の議案と1件の請願の審査を行いました。

ペット霊園の設置に関する条例

委員 焼却炉が80℃以上で燃焼されているかの確認はどうするのか。

環境課長 基準に適合している施設であれば排出基準を満たしているかと推定する。

公共下水道接続工事契約の締結

委員 工事が約75%進んだ時点での金額見直しはなぜか。

下水道課長 調査後2年間経過したことや、調査不可能な部分があったため。

反対

調査が不十分だったこと、高い落札率のため反対。取り組み姿勢を評価し、適正な

契約だと思ふので賛成。

可児駅前駐輪場用地の無償貸付け

委員 可児駅東だけではないのか。

都市整備課長 駅東で整備計画を進めたが、困難なので東側と西側で進めた。

反対

当初計画では、駐輪場利用は無料という予定だったので反対。

賛成

市民の利便性を考えた施設なので賛成。

賛成

受益者負担は社会人として当然であり賛成。

TPP参加反対の意見書提出を求め請願を不採択

さまざまな意見がありました。採決の結果、賛成少数で不採択になりました。
委員 農産物の自給率が10%ぐらいまで

落ちる試算や、我が国の基幹産業が輸出、対米に多く頼っている等、メリット・デメリットを考える必要がある。

委員 農産物だけでなく、関連する分野での雇用が失われ、経済が衰退する懸念がある。

委員 国に対して慎重審議を要望したいというのが本音だ。国の将来のあり方、農業、人、工業の問題もあり、不透明な部分が多く判断に苦慮するが、請願は採択。

採択

当面、一番影響を受けるのは農業分野であると思うので採択。

不採択

医療、労働に乏しく、農業だけにとらえて反対という明確な表現を出して、良いのか疑問なので、現時点では不採択。

文教福祉委員会

今定例会では、22年度補正予算3件、条例の一部改正2件を審査し、全会一致で原案を可決しました。

22年度一般会計補正予算

委員 福祉医療で、重度心身障がい者医療費が補正になっていくが、この要因は何か。

福祉課長 重度心身障がい者医療費の対象者が増えたこと、一人当たりの医療費が増えたことによる。

委員 老人福祉費の中で、小規模多機能型居宅介護施設の建設予定事業者が撤退した理由は。

いきいき長寿課長

小規模多機能型居宅介護施設2か所のうち1か所は着手を延期したもので、もう

委員会報告

1か所は法人の撤退によるものである。

小規模多機能型居宅介護報酬の算定について要介護度が低い人が利用されると、収入が予想より少ない場合があり、経営が厳しくなると判断され、辞退届が提出されたことによる。

付託案件の審議の後、所管の事項について各部局から説明を受け協議しました。

ワクチン接種の見合わせについて

委員 実情と今後の見通しは。

健康増進課長 ヒブ・肺炎球菌については、安全性が確認されるまで、一時中止。子宮頸がんワクチン接種については、全国的に急速な需要の増加でワクチンの供給不足にある。

予算特別委員会

新たに予算特別委員会を設置

平成23年度予算17件について、5回の委員会を開催し、審査を行いました。決算特別委員会で行われた決算審査の報告が、平成23年度予算にどのように反映されたかを中心に審査しました。

執行部からの主な報告として、次のような説明がありました。

○災害対策経費の充実については、雨量や水位データをリアルタイムで監視および閲覧できるように、気象監視システムの改修を行い、河川の状況を監視するため、可児川の3カ所にライプカメを設置する。また、災害時の連絡および情報収集に効果が高い無線を

平成23年度予算に対し 予算特別委員会の集約した意見

1. 昨年7月15日に発生した本市の集中豪雨災害や、本年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震等の災害に鑑み、特に防災関係の予算については、最大限の効果を得られるよう執行されたい。

2. 市が支出する補助金予算について、その効果や必要性などの検証を十分行いながら執行し、その適正化を図られたい。

3. コミュニティFM局出資金について、行政の情報発信や災害時における被災者一人ひとりに対する安否確認・避難誘導等、確実な情報発信を行う体制を整備するため、FM局を開局する必要性は十分認識するが、会社設立及びその運営について計画の細部を十分検証したうえで予算執行されたい。

また、こうした出資金について予算化する場合には、その額の根拠を明確化し、対象事業についての妥当性、合理性を十分検討するとともに、その出資比率についてもルール化することを検討されたい。

4. 市長の重要施策に位置付けられている放課後児童クラブの拡充について、土田小児童クラブの建設費用が平成23年度予算に計上されなかったのは残念な結果であるが、地域における子育て支援を推進する観点からも、早期建設に向けて検討を進められたい。また、対象学年を4年生から6年生へ早期に拡充するよう、方向性を明らかにされたい。

最大限活用するため、携帯型と車載型無線電話を20台ずつ購入し、これらを利用した職員訓練も実施しながら有効な災害対応を行う。

役割や機能分担等について、市民に受診方法等の啓発を進めるとともに、意見を聞きながら、医師会、周辺市町と連携して地域医療について検討を進める。

○小中学校の備品等については、平成22年度に机やいすについて総点検を実施し、持管理経費もかかる

更新が必要なものについて、市民に受診方法等の啓発を進めるとともに、意見を聞きながら、医師会、周辺市町と連携して地域医療について検討を進める。平成23年度予算については、質疑、討論、採決を行った後、次の意見を付すことを決定しました。

予算編成過程の一層の公開推進を



さかい まさし
酒井 正司

問 昨年指摘した予算編成過程の公開は評価するが、今年1月の補正予算の過程を公開しなかったのはなぜか。次年度予算の公開内容と日程は。新市長初の予算の特徴と市民の意見反映は。

総務部長 補正予算の公開は今回考えていなかったが、今後公開したい。24年度当初予算については、編成方針を8月下旬をめどに、11月に各部課の要求状況、12月に部長査定と市長査定、1月下旬に予算案の公開を予定。

市長 目的に照らして改善点を指摘した。行政評価懇談会（仮称）や、市民委員会を組織して進めたい。

緊急情報キットを希望者に有償で

問 緊急情報キットを、要援護者以外の希望者にも有償で渡してほしい。経済産業省の病歴ICカードシステム

ドシステムの読み取り機が、この地域で全救急車に配備された。情報キットと混乱をきたさないようにし、救急救命率向上に寄与してほしい。

健康福祉部長 有料で希望の方があれば検討したい。関連事業との連携を視野に入れ、配布事業を進めたい。

その他の一般質問 期日前投票所増設・ポスター貼り仲介を



緊急情報キットのイメージ

先生と生徒と保護者の関係



あもう よしあき
天羽 良明

問 理不尽に要求する保護者の対応で、苦労している実態は。

教育長 3月初めの調査で、22年度は6校10件。子どもが授業中に先生の指導に従わず授業を妨害するなど、子どもの対応で苦労している学校は何校あるか。

教育長 5校7件。子どもが自分の感情を抑えられない事例

があった。

問 学級崩壊にどう向き合うか。

教育長 解りやすい授業をする。担任だけでなく、多くの教員がかかわり、子ども一人ひとりを尊重する。そして、時には保護者と見守る。

あるべき本市の教育現場とは

問 市長として、どう考えるか。

市長 子どもは、成長していずれ社会を支える。



楽しい授業風景

学校は、社会の縮図・訓練の場であるべき。良いことをしたらほめられ、悪いことをすれば叱られる。辛いことも、うれしいことも様々な体験の場。先生は深い知識と広い見識を持ち、子どもにしっかりと向き合う。親と先生、家庭と地域のふれあいと支えあいが大切である。

ここが聞きたい

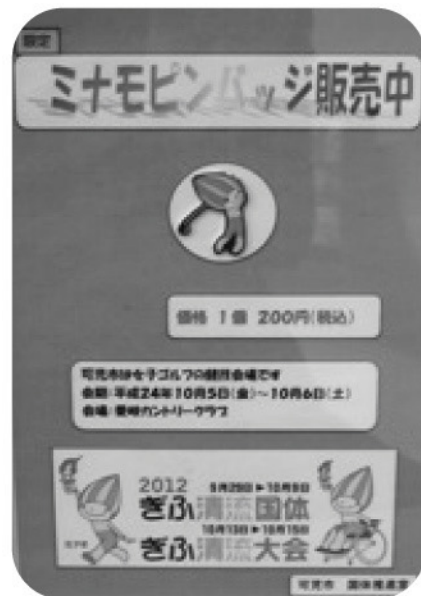
「ぎふ清流国体」への取り組みは



さわ の しん
澤野 伸

問 開催を翌年に控え、本市の取り組みと観光や地域経済の活性化を図るための施策は。

教育部長 可児市実行委員会を設立し、事業活動をスタートする。開催前のプレイベント等についても、実行委員会と県国体推進局とのタイアップを図る。本市児童生徒の様々な競



正式種目である女子ゴルフ競技を開催

技観戦要望についても受け入れ体制の可否の確認をする。競技会場駐車場に交流広場を設置し、花フエスタ記念公園、歴史的資源、観光ルート等を紹介する企画や展示、特産品の販売、観光PRを通じ、経済の活性化を目指す。

成年後見制度拡充への取り組みは

問 本市の成年後見制度の現状と今後の取り組みは。

健康福祉部長 介護保険のサービスをすでに受けている認知症高齢者のケースが多いため、成年後見が必要な場合は、当初の相談をケアマネジャーが受け、必要に応じ地域包括支援センターがアドバイス等の支援をする。制度の普及には市民後見人が期待されるが、地域における相互扶助システム構築の検討の中で、その可能性を探っていく。

いじめ解決の第三者機関の内容は



やま だ ひろ
山田 喜弘

問 施政方針に示された、いじめに対する第三者機関とはどのような機関か。

企画部長 いじめのない安心して学べる学校の実現を目指し、学校外に問題解決の機関を設置する。そのため4月より研究会を発足させ早期の設置を目指す。専門家として臨床心理士、弁護士、人権関係者などを想定しているが、教職員の参加は考えていない。学校だけで解決できない問題に、第三者機関が学校へ改善等の助言で解決のサポート

をしていく。

問 いじめ防止条例を制定しては。

市長 いじめをなくすために第三者機関に権限が必要とあれば、条例制定も合わせ研究会の中で進め、年内に結論を出し、必要があれば制定をする。

本市の地デジ難民対策をどうする

いじめの認知件数
(平成22年4月～12月)

	岐阜県	可児市
小学校	1,913件	86件
中学校	1,087件	79件

問 7月24日に完全移行される地上デジタル放送に対する本市の対策は。

企画部長 東海総合通信局へ、難視対策に関し、受信環境の整備を要望している。また広報について、今後も集約的かつ広範に広報紙を活用し、実施する。地デジ相談コーナーを、市役所に6月27日から8月26日の予定で設置する。

一般質問

可児川苑は 土・日も開館を



とみ だ まき こ
富田 牧子

前提で算定している。問 土・日開館に必要な経費はいくらか。健康福祉部長 指定管理への移行で、年間約1600万円の削減になるが、土・日開館するとおおよそ1000万円の費用が必要。

問 市立図書館本館は平日午後7時までの開館となっている。他市では午後8時まで開館している例もある。教育部長 開館時間の1時間延長で、年間400万円経費が必要と見込まれ、現状では、開館延長は無理。

図書館本館は午後8時まで開館を

問 市の老人福祉施設、可児川苑・福寿苑・やすらぎ館は4月から指定管理者制度に移行する。指定管理者制度の目的は、コスト削減とともに行政サービスの質を向上し、住民満足度を高めることにある。指定管理者制度に移る市老人福祉施設でも、現在休館となっている土・日の開館を行って、市民サービスの充実すべき。健康福祉部長 市が指定した指定管理料の上限額は、土・日、祝祭日、年末年始は休館日であるという



年間約5万5千人が利用する可児川苑

市長の 改革プランは

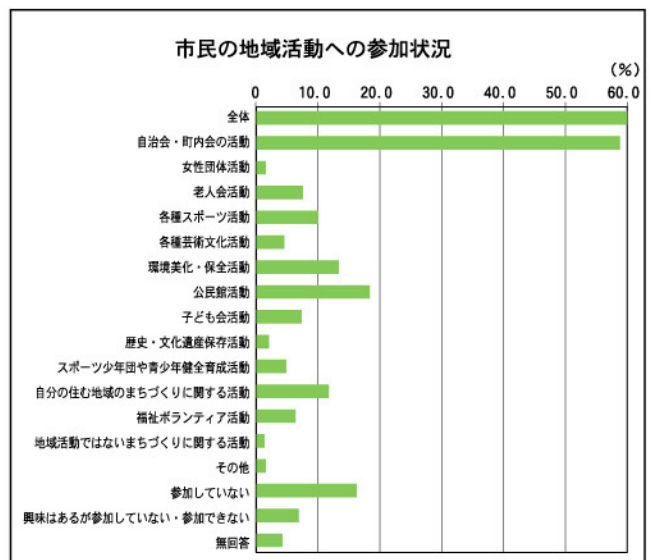


お が わ ふ き
小川 富貴

問 施政方針で示されたいくつかの新たな市民委員会・懇談会には何を期待されているのか。現行の審議会・委員会の中で働きが重なっているものの改廃はされるのか。市長 厳しい財政状況の中で、行政と、家庭、個人、地域が補完し合う原点に立ち、市民が地域の具体的な課題に企画段階から参加できる仕

組みづくりによって、解決策や実行主体にもなるものである。今ある行政改革懇談会は解消し、新設の行政評価懇談会（仮称）の中で、既存類似団体の見直しを検討する。

問 その行政評価懇談会（仮称）は市の事業評価を進めるとしているが、この懇談会の開催は、その期待される働きとは逆に、たった2回の開催予定であり、内容も「懇談会の意見を聞く」としか示されていない。市長 公募市民、学識経験者に政策テーマごとに効率性、効果などについて意見を聞き、市の行財政改革に繋げる目的であり、単に「意見を聞く」だけでなく、徹底した議論を期待している。開催回数も増えるなら、対応すべきと考える。



資料：市民意識調査調査結果報告書

ここが聞きたい

児童クラブ拡大の 運営具体化は



いとう けんじ
伊藤 健二

問 4年生以上のクラブ運営を市民ボランティアで行う体制を考えるのか。安心して子育てを第一に掲げる市長の予算に、児童クラブ拡充がないのは問題だ。1、3年生クラブの延長線に新制度がつくられると期待した市民を失望させないでほしい。

健康福祉部長 従来



土田小学校児童クラブ

方法では財政的に負担が大きく、指導員の確保も困難と予想。運営方法には企業やNPOなども含め、地域ボランティアの協力で検討する。場所には既設公共施設など活用を探っていく。

**臨時の予備財源で
国保税の減税を**

問 国保世帯に対し過大税負担を課した値上げ分を少しでも軽減せよ。臨時歳入を使い、税の臨時値

下げを要求する。**健康福祉部長** 予算に2億1700万円の予備費を計上したが、精算額が毎年度安定的に入る見通しはない。臨時的収入の一部を税率引下げには充てない。

市長 国保加入者の所得は全体の平均と比較し低く、平均年齢も高い。市民はいずれは国保に加入される特質もある。国保財政のあり方を検討していく。

JR可児駅と 自由通路の 今後は



こむら まさひろ
小村 昌弘

問 市の玄関口とも言うべきJR可児駅の橋上駅舎、自由通路構想はいまだに進んでいないが、どうするのか。

ている市民の安全が心配されるが。**建設部長** 可児駅の地下道の安全確保には、非常通報装置の設置、照明も今より明るいものに取り替え、利用しやすい環境の確保に努めていく。

建設部長 JR東海と平成10年度に、自由通路の新設と橋上駅舎化事業を全額市負担で行うとの覚書を締結した。しかし、この事業には多額の費用を要するため、社会情勢の変化を考慮すると計画の延伸、休止を考えざるを得ない。

問 自由通路の整備が休止されると、現在地下道を利用され



今後、可児駅はどうか

金山城跡の価値は

問 発掘調査の結果、市文化財としての位置付けは。

教育部長 平成18年より5年にわたり調査を行ってきた。昨年11月には、文化庁調査官の視察も受け、極めて貴重な史跡との評価も得た。市としては、平成24年度末頃には、国指定申請を目指したい。

バラを活かした まちづくりが停滞



かわ かみ ひろ 浩
川上 文浩

増加ということには
つながっていない。
費用対効果から廃止
した。

市長 花フエスタ記

念公園は可児市の魅
力づくりの大きな存
在だ。早急に目指す
ところを明確にした
上で、補正予算をあ
げる。まつりを止め
たというイメージは

ない。
説明できる事業に
衣がえをして予算要
求をする。

**中心市街地活性化
計画の見直しは**

建設部長 計画は社

会情勢の変化を読み
取れず、事業実施能
力を超えた過大なも
のになっていった。商
工会議所や地元商業
者の事業への参加意
識の醸成には至らな
かった。本計画の改
定を検討する方向だ。

問 バラを活かした
まちづくり、可児バ
ラまつりを今後どう
進めるのか。
環境経済部長 オリ
ジナルグッズの販売
や、市民、事業者の
協力により推進する。
バラまつりは必ずし
も公園の入場料金の



盛況だった可児バラまつりは中止に

障がい者の未来を 明るくするには



やま ね かず お
山根 一男

問 ふれあいの里可
児重度障がい者支援
センターの施設改善
について。

健康福祉部長 ふれ

あいの里可児につい
ては、十分な環境が
得られていないとの
声があるので、利用
者やご家族の意見を
聞きながら、少しで
も快適な環境が提供
できるように努めた
い。



ふれあいの里可児重度障がい者支援センター

問 可児市役所の障
がい者雇用率向上に
ついて。

企画部長 現時点で

法定雇用率の2・1
%が遵守されていな
いことを遺憾に思う。
市役所として、市内
事業所の見本となる
ような障がい者雇用
を進めていきたい。

**学校でのいじめを
根絶するには**

問 昨年6月、本市
で発覚した中学生に
よるいじめ事件は全
国に報道された。二

度とこのようなこと
が起きないようにす
るために、どのよう
な手立てがあるのか。
市長 従来のように
学校や教育委員会に
任せただけではなく、
第三者機関を設立し
て課題解決に当たり
たい。当面は市長部
局と人権啓発センタ
ーが一緒になって事
務局を担い、具体的
なことは今後市民参
加で立ち上げる研究
委員会を検討してい
く。

ここが聞きたい

新年度予算に 選挙公約の反映は



あし だ いさお
芦田 功

問 マニフェスト選挙公約は結果責任を問われるが、放課後児童クラブの対象を3年生から6年生までに実現させると公約されたが、新年度予算に盛り込んでいない。

問 現状でも運営費が8100万円かかっているところを6年生までにするには、施設、人件費など多

新年度の本市の雇用・経済対策は

額の予算を伴うが、実現できるのか。
市長 従来の方法ではなく、地域住民や保護者の参加協力を得ながら、長期休暇時の運営など可能なところから進めていく。



多くの子どもが利用する土田小児童クラブ

中身は可児市としての雇用と経済対策が重要視されていないと見受けられるが、**見解は。**
市長 本市での経済対策は、企業誘致などを推進させるとともに、観光資源を活用した研究会での方向性が出た時には、予算化をして取り組んでいく。

可児市議会改革のための アンケート調査を実施しました

可児市議会では、市民にわかりやすく開かれた議会づくり、議員の政策立案能力の向上、チェック機能の強化を図ることを目的に、平成19年に議会活性化特別委員会が中間報告を取りまとめ、費用弁償の廃止や、政務調査費を議会だよりやホームページで公開するなど議会改革に取り組んできました。さらなる改革を進めるため、平成22年12月に議会基本条例調査研究プロジェクトチームを設置し、より一層の議会改革に取り組んでいます。

平成23年2月に、可児市議会の議会改革に対する意見を広くお聞きするため、20歳以上の市民2,000人を対象にアンケート調査を実施したところ、回収率40.5%、810通の回答をいただきました。

今後、アンケートの集計・分析を行い、議会改革に反映させてまいります。

アンケート調査にご協力いただきました皆さま、大変ありがとうございました。

集計結果等につきましては、改めてご紹介する予定です。



政治家が選挙区内の人に金品を贈ることは禁止されています。

また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

贈らない！

求めない！

受け取らない！

地域のかがやき 地域の笑顔

桜ヶ丘 新春桜寄席



落語で大いに笑う

帷子 ボウリング大会



楽しくみんなで競技しました

姫治 今城址整備活動



子どもたちが桜を植樹

中恵土 春の和菓子講座



桜餅、梅餅、浮島を作りました

兼山 駅跡地活性の会



整備作業中のベンパー

今渡 乳幼児学級



パルーンで一緒に遊ぼう!

編集後記

平成23年3月定例会で、市議会として初めて予算特別委員会を設置し、平成23年度予算案を審査しました。平成23年度の予算案がどのようになっているか確認しました。また、安全や福祉の向上など、議員間の議論を活発に行い、意見集約しました。

今後とも、議会での議論を市民の皆さまにしっかりと伝えることができるよう、頑張ります。

(山田喜弘)

第3回定例会のお知らせ

5月26日	議案提案説明
6月2・3・6日	一般質問・質疑
9日	総務企画委員会
10日	建設経済委員会
13日	文教福祉委員会
17日	最終日
	(委員長報告・討論・採決)

会議は午前9時開会の予定です。
日程は、都合により変更となる場合もあります。